



ゼンショーグループは
地の果て 海の果つるところまで
MMDシステムをつくれます。

誰もが自分自身の視野の限界を、
世界の限界だと思い込んでいる。

ショーペンハウアー

香川県 小豆島のオリーブ

2025年3月期 中間期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

ZÉNSHO

株式会社 ゼンショーホールディングス

目次

トップメッセージ	… 1
財務ハイライト	… 2
セグメント別ハイライト／概況	… 3・4
トピックス	… 5・6



株式会社ゼンショーホールディングス
代表取締役会長 兼 社長

小沢 賢太郎

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

まずは能登地方をはじめ、災害に見舞われた地域の皆様にお見舞いを申し上げます。被災地に対してはゼンショーグループでもできる限りの支援活動を行っていますが、より速く確実に支援を行えるよう、今後は緊急時に対応できる体制をいっそう強化してまいります。

世界は現在、きわめて不安定な状況にあります。中東とウクライナだけでなく、世界各地で国同士の戦争や内戦が後を絶たず、多くの人々が今この瞬間も戦火の中にあります。

こうした状況を踏まえ、ゼンショーグループでは「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という理念を進化させ、「人類社会の安定と発展に責任をおう」ということを自らの使命として課しました。国連や国家に任せきりにするのではなく、株式会社として国境を越え、人類社会の根本的な課題に挑んでまいります。

株主の皆様におかれましては、ゼンショーの理念とともに実現するパートナーとして、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(ご参考) 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
10,800億円 前年同期比 11.8%増	625億円 前年同期比 16.4%増	615億円 前年同期比 20.8%増	370億円 前年同期比 20.5%増	231円37銭

売上高

5,577億 65百万円

前年同期比 23.2%増



営業利益

411億 29百万円

前年同期比 61.4%増



経常利益

391億 3百万円

前年同期比 59.6%増



親会社株主に帰属する中間純利益

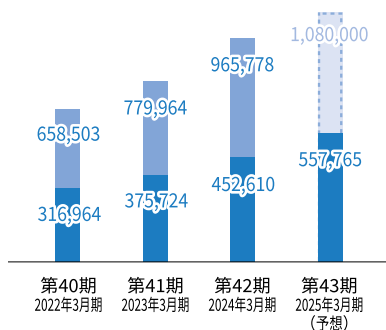
248億 71百万円

前年同期比 57.4%増



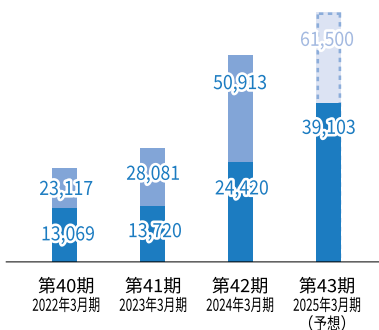
売上高

(単位：百万円)

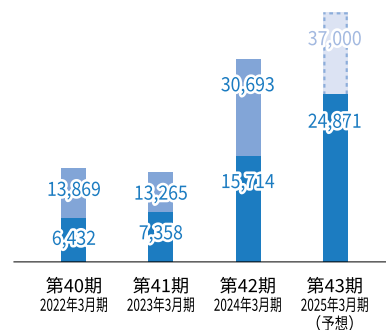


経常利益

(単位：百万円)

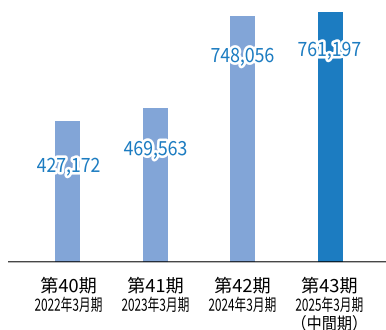


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



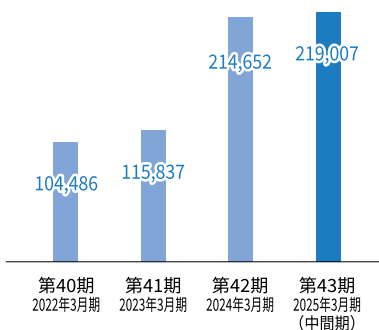
総資産

(単位：百万円)

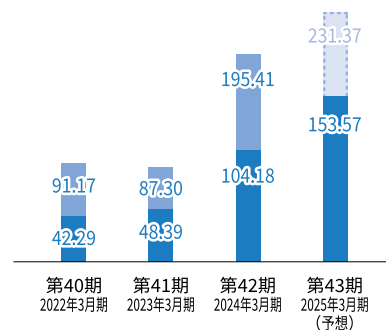


純資産

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



※配当につきましては当初予想通り、中間配当1株当たり35円、
期末配当1株当たり35円とし、年間では70円を予定しております。

通期 中間期

■ グローバルすき家

「グローバルすき家」の当中間連結会計期間の売上高は、1,459億45百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は、134億22百万円（同32.5%増）となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。

国内すき家では、「明太マヨチーズ牛丼」、「めかぶオクラ牛丼」、「月見すきやき牛丼」などを販売しました。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、34店舗出店、62店舗退店した結果、2,604店舗（国内1,954店舗、海外650店舗）となりました。

■ グローバルはま寿司

「グローバルはま寿司」の当中間連結会計期間の売上高は、1,171億19百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益は、97億19百万円（同97.9%増）となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、35店舗出店した結果、702店舗（国内620店舗、海外82店舗）となりました。

■ グローバルファストフード

「グローバルファストフード」の当中間連結会計期間の売上高は、1,582億2百万円（前年同期比59.1%増）、営業利益は、145億47百万円（同185.6%増）となりました。

「なか卯」は、親子丼・京風うどんを中心に、専門店にも負けない商品を提供しております。また、国内ではハンバーガーチェーンの「ロッテリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」などを展開しているほか、海外で展開する寿司テイクアウトのAdvanced Fresh Concepts Corp.、Sushi Circle Gastronomie GmbH及びWonderfield Topco Limited、ハラル認証を取得したチキン

ライス専門店TCRS Restaurants Sdn.Bhd.などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、467店舗出店、202店舗退店した結果、10,737店舗（国内974店舗、海外9,763店舗、FC8,210店舗含む）となりました。

■ レストラン

「レストラン」の当中間連結会計期間の売上高は、764億87百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は、54億94百万円（同68.2%増）となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めております。そのほかに、パスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、4店舗出店、5店舗退店した結果、1,188店舗（国内1,187店舗、海外1店舗、FC77店舗含む）となりました。

■ 小売

「小売」の当中間連結会計期間の売上高は、384億92百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失は、7億87百万円（前年同期は営業損失7億98百万円）となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている（株）ユナイテッドベジーズなどが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当中間連結会計期間末の店舗数につきましては、1店舗出店、3店舗退店した結果、130店舗となりました。

■ 本社・サポート

「本社・サポート」の当中間連結会計期間の売上高は、24億11百万円（前年同期比13.4％増）、営業利益は、95百万円（同96.8％減）となりました。

食品の製造・加工を担う（株）GFF、物流機能を担う（株）グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する（株）グローバルテーブルサプライ等が当報告セグメントに含まれております。

■ その他

「その他」の当中間連結会計期間の売上高は、191億7百万円（前年同期比10.1％増）、営業損失は、13億84百万円（前年同期は営業損失76百万円）となりました。

家庭用冷凍食品等の企画・開発・販売の（株）トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う（株）サンビシ、介護事業を運営する（株）輝、玄米・精米の販売を行っている（株）ゼンショーライス等が含まれております。

セグメント別売上高構成比

当社グループの代表的な子会社及び業態のロゴマークを記載しております。

その他

191億7百万円
（グループ売上シェア **3.4%**）

■ 主なブランド



本社・サポート

24億11百万円
（グループ売上シェア **0.4%**）

■ 主なブランド



小売

384億92百万円
（グループ売上シェア **6.9%**）

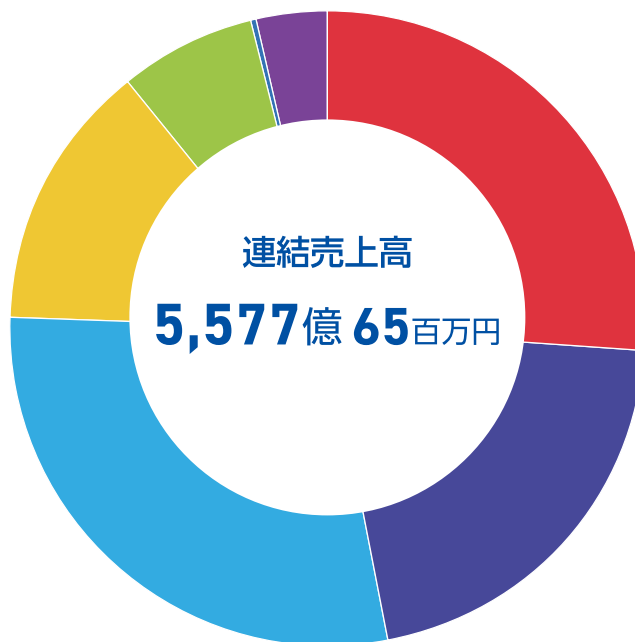
■ 主なブランド



レストラン

764億87百万円
（グループ売上シェア **13.7%**）

■ 主なブランド



グローバルすき家

1,459億45百万円
（グループ売上シェア **26.2%**）



グローバルはま寿司

1,171億19百万円
（グループ売上シェア **21.0%**）



グローバルファストフード

1,582億2百万円
（グループ売上シェア **28.4%**）

■ 主なブランド





従業員の子どもたちとゼンショー社員

TOPICS 1

ZENSHO FAIR TRADE —南アフリカ共和国— 安心して通勤・通学できる環境を



ゼンショーは、南アフリカでアパルトヘイト政策撤廃後の人種間の融和を図る活動を推進する企業と、オーガニックルイボスティーのフェアトレードを行っています。南アフリカでは高い失業率や貧富の差の拡大などを背景に治安の悪化が問題となっています。ルイボスティーの生産に関わる従業員や加工場に併設されている学童保育・託児所に通う従業員の子どもたちが公共交通機関を利用すると危険が伴うため、フェアトレードによる社会開発資金を利用してバスを購入しました。今では毎日約500人がこのバスを利用し、従業員や子どもたちは安心して通勤、通学ができるようになりました。

安心して通うことができるようになりました！



ルイボスティー茶葉

※社会開発資金…商品価格の中で、現地の人々の生活改善などに充てるために使用される部分の金額のこと。

TOPICS 2

子どもたちが「食」について 考える機会を提供

2024年7月ゼンショーグループの労働組合「ZEAN（ゼアン）」とゼンショーかがやき子ども財団が協働し、児童養護施設の子どもたちを対象に船釣り体験を実施しました。

この体験は、魚を釣って調理し、食べるまでの一連の流れを通じて、子どもたちに食糧調達の大変さや食の大切さを学ぶ機会を提供することを目的としています。

釣った魚はグループの商品開発者が子どもたちと一緒に調理し、参加者全員で食事を楽しみました。子どもたちからは「新しいことを学べて楽しかった」などの声が寄せられました。今後も子どもたちに体験と学びの場を提供していきます。

※300株以上保有されている株主様に、ご優待券での寄付制度をご案内しています。株主様からのご寄附はこうした子どもたちの社会体験事業活動に使用させていただいています。

魚釣り体験

商品開発者と一緒に
魚をさばきます



調理 & 試食



すき家の牛丼を提供

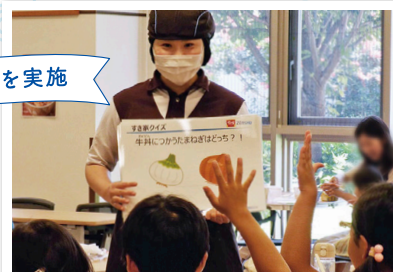
TOPICS 3

地域PR推進室設立 「こども食堂」実施

ゼンショーグループでは、地域とより良い関係を築くため、地域PR推進室を設置しました。主な取り組みの1つが「こども食堂」。7月にはゼンショー創業の地である生麦で「なまむぎこども食堂」を開催しました。

私たちが大切にしていることは、地域のこども食堂スタッフと手を携えて運営していくこと。それぞれの地域のこども食堂の思いや考え方などを尊重しつつ、ゼンショーの理念に共感していただくことで、より地域に根付いた持続的な活動に発展させることができると考えています。ゼンショーグループの店舗がそこにあってよかったとお客様に思ってもらえるような取り組みをグループ全体で実施してまいります。

牛丼クイズを実施



ありがとう
ございました



子どもたちからプレゼント

株主優待制度

当社では皆様の日頃のご厚情に感謝し、100株以上保有の株主の方に、当社グループ店舗でお使いいただける「株主様お食事ご優待券」をお届けしています。



100株以上300株未満 1,000円分（500円券×2枚）

300株以上500株未満 3,000円分（500円券×6枚）

500株以上1,000株未満 6,000円分（500円券×12枚）

1,000株以上5,000株未満 12,000円分（500円券×24枚）

5,000株以上 30,000円分（500円券×60枚）

ご優待券をご利用いただけるお店



代替品について

300株以上保有の株主様は、代替品交換制度をご利用いただけます。

定められた期限内に未使用で最新の株主優待券（3,000円分）をご返送いただくと、ゼンショーグループのオリジナル商品との交換が可能です。

※詳細は株主優待券同封の「株主様お食事ご優待券のご案内」をご覧ください。

代替品の一例



すき家
牛丼の具10食セット



ゼンショーライス
お米食べ比べセット



ゼンショー
黒毛和牛ローストビーフ

ゼンショーサポーターズクラブ[ZSC]

当社の理念に共感をいただき、ファンになっていただくことを目的としています。

ZSC会員特典

- ① 「会員情報紙」の送付
- ② グループ店舗で使えるZSC特別クーポンの送付
- ③ ZSCオリジナル商品の特別販売（通販）

入会手続き

「サポーターズクラブ入会案内申込みハガキ」よりお申込みください。

なお、300株以上保有の株主様は、優待券と交換でもお申し込みいただけます。詳細は株主様お食事ご優待券に同封の「優待券代替ラインアップ」をご確認ください。

〈お問合せ〉ZSC事務局 TEL:0120-959-309（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本クリエイト	60,299	38.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,105	8.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,949	3.15
ゼンショーグループ社員持株会	2,784	1.77
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,922	1.22
GOVERNMENT OF NORWAY	1,254	0.80
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,243	0.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,216	0.77
JPモルガン証券株式会社	782	0.50
JP JPMSE LUX RE BARCLAYS CAPITAL SEC LTD EQ CO	733	0.47

(注) 持株比率は自己株式(3,777,284株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	： 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	： 3月31日及び9月30日
定時株主総会	： 毎年6月開催
基準日	： 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	： 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	： 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目3番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	： 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）
単元株式数	： 100株
公告方法	： 原則として当社ホームページにて行います。電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。